

富安 由真 Tomiyasu Yuma 略歴

Exhibition

- 2021 KAAT EXHIBITION 2020 富安由真展 | 漂泊する幻影, KAAT 神奈川芸術劇場, 神奈川
 2019 Midnight Visitors 真夜中の来訪者、西武渋谷店 美術画廊・オルタナティブスペース、東京
 2019 Making All Things Equal / The Sleepwalkers、アートフロントギャラリー、東京
 2018 ミレニアムコレクション: 富安由真展, ザ・プリンスパークタワー東京, 東京
 2018 第12回 shiseido art egg 富安由真展: くりかえしみるゆめ Obsessed With Dreams, 資生堂ギャラリー, 東京
 2018 guest room 002 富安由真:(不)在の部屋——隠れるものたちの気配, 北九州市立美術館, 福岡

Awards

- 2018 第12回 shiseido art egg 入選, 東京
 2018 第21回岡本太郎現代芸術賞 特別賞受賞, 神奈川
 2016 第3回 CAF 賞 入選, 東京
 2011 Signature Art Awards 2011 入選, London
 2010 The Jerwood Drawing Prize 2010 入選, London



《The Doom》2021年 ミクストメディア
 個展「The Doom」2021-2022年、アートフロントギャラリー
 (展示風景より)
 撮影: 西野正将/Photo by Masanobu Nishino
 提供: アートフロントギャラリー/Courtesy: Art Front Gallery



《漂泊する幻影》2021年 ミクストメディア
 個展「KAAT EXHIBITION 2020 富安由真展 | 漂泊する幻影」
 2021年、KAAT 神奈川芸術
 劇場 (展示風景より)
 撮影: 西野正将/Photo by Masanobu Nishino



《The Pale Horse 蒼ざめた馬》2021年
 個展「アペルト 15 富安由真 The Pale Horse」
 2021-2022年、金沢21世紀美術館 (展示風景より)
 撮影: 野口浩史/Photo by Hiroshi Noguchi

レオニート・チシコフ Leonid Tishkov 略歴

1953年 ニーヅニー・セルギ(旧ソ連)生まれ、モスクワ(ロシア)在住。医大在学中に画家となることを決意。

パスタや古着などの身近な素材を使ったオブジェ、月のオブジェを世界各地で撮影するプロジェクトなど多くのジャンルで活躍している。

2021 いちはらアート×ミックス 2020+ (市原市、千葉)

2019 瀬戸内国際芸術祭 2019 (沙弥島、香川)

2019 The Moon (国立海洋博物館、ロンドン)

2019 La Lune (グラン・パレ、パリ)

2018 Private Moon (サビナ美術館、ソウル)



●作家写真 (撮影: Raul Skrylev)

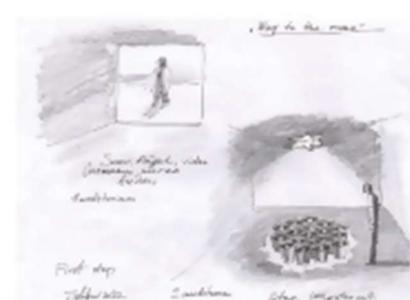
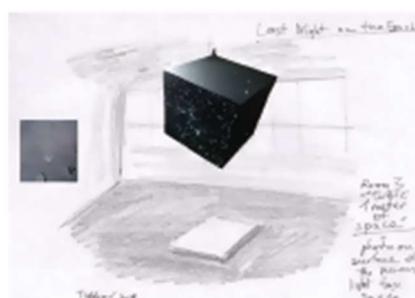
●過去作品

- ① 《7つの月を探す旅「第二の駅-村上氏の最後の飛行 あるいは月行きの列車を待ちながら」》 いちはらアート×ミックス 2020+
- ② 《月と塩をめぐる3つの作品》 瀬戸内国際芸術祭 2019 (撮影: 木奥恵三もしくは Keizo Kioku)

●2022年プラン

旧沙弥小中学校の各教室にそれぞれインスタレーションを設置。

旧沙弥小中学校の校庭には、沙弥島にゆかりある『万葉集』の柿本人麻呂にちなんだ月のオブジェを設置する予定。



新建築社+砂木



木内俊克、砂山太一

木内さんと砂山さんは建築・美術を軸に企画から設計・制作まで多岐にわたる活動をされています。両氏が参加した第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館展示（2021）は、日本の木造住宅を解体してヴェネチアで再構築するまでのプロセスを展示するというユニークな形式の展覧会として世界的に注目を集めました。

「瀬戸内国際芸術祭 2022」において、小豆島の坂手で、新建築社との協働のもと、建築・美術に関するコンテンツを制作・展示する拠点施設となります。小豆島のリサーチから企画、設計・制作に至るまでのプロセスや、今後の展開についてご覧いただきます。

作品プラン

小豆島ハウスプロジェクト

- ・新建築社が企画・運営するスタジオ／ギャラリー／レジデンス機能を備えた施設
- ・新建築社が培ってきたネットワークを生かし、国内外の建築家・研究者がワークショップや滞在制作をおこなう
- ・建築に関する映像やVRなどのメディア・コンテンツから建築家によるインスタレーションまで、様々な展示をおこなう
- ・2021年9月に新建築社が小豆島・坂手の空き家を購入し、企画立案・改修設計、オープン後の運用含めプロジェクトを進行中（2022年夏オープン予定）